

# 議 事 録

令和7年度 岡山県立倉敷天城中学校・高等学校 第1回学校運営協議会

日 時 令和7年5月16日(金) 15:00 ~ 17:00

場 所 岡山県立倉敷天城中学校・高等学校 コンベンションホール

## ●出席者(敬称略)

### 【学校運営協議会委員】

稲田、猪木、上田、北村、藤南、橋本、藤木、藤井(校長)、松井、森、山田  
(11名 全員出席)

### 【事務局】

蒲生、乙倉、迫田、三宅仁、皿海、景山、奥野、川崎、本城、越智、三阪、江原、  
吉田、斎藤 (欠席:三澤)

※開会前に、校長室にて各委員に「任命書」をお渡し

1 開会 : 藤井校長あいさつ

2 出席者自己紹介 : 出席者が順次、自己紹介。

3 説明 : 迫田教頭が学校運営協議会制度について説明。

4 会長選出 : 全会一致で、藤南氏を会長に選出。

5 議事(藤南会長が議長として議事を進行)

(1)令和7年度学校経営計画について

・ 中学校・高校ともに、今年度の学校経営計画について承認された。

(2)令和7年度各課・年次団の具体的取組について

・ 中学校・高校ともに、今年度の各課・年次団の具体的取組について承認された。

(3)令和7年度予算について

・ 中学校・高校ともに、今年度の学校経営予算について承認された。

(4)令和7年度倉敷天城高等学校教科書選定方針について

・ 高校の教科書選定方針について承認された。

6 協議

今年度から先導的改革期に指定されたSSH(スーパーサイエンスハイスクール)に関する取組や学校の魅力発信等に関して、活発な議論がなされた。以下に概要を示す。

### ①天城中学校出身生徒と市立中学校出身生徒の相乗効果について

・天城中学校出身生徒は、中学校3年次に課題研究を行っていることから、高校における課題研究で模範となっている。市立中学校出身生徒は、最初とまどうこともあるが、ともに研究に取り組み、最終的にはうまく進められるようになっている。

- ・高校では、天城中学校出身生徒と市立中学校出身生徒が一緒になって、グループで課題研究を行い、お互いに刺激を与えて成長しており、学力が向上したり、大学進学実績も上がったりしている。

## ②進学者の不安と広報活動

- ・市立中学校からの入学者の保護者の中には、天城中学校出身生徒と同じよううまくやっていけるか不安を感じる保護者もいるとの声があるが、実際には学校がしっかりとサポートしていたり、併設型中高一貫校ならではの良さがあるので、その良さを広めることが重要である。
- ・天城高校は定員の半分を天城中学校からの入学者が占め、市立中学校からの入学者数が少ないことから、生徒募集における広報活動や、入学後の市立中学校出身生徒へのサポートが重要である。
- ・学校の魅力を広めるため、学校ホームページや SNS（Instagram, Facebook）の充実が提案された。

## ③新しい取組と委員による協力

- ・今年度からの新たな取組として、天城中学校3年生と天城高校1年生が課題研究に関してアドバイスしあう「中高シンポジウム」の準備を進めている。
- ・地域との連携については、地元の企業や自治体と連携し、課題研究や進学支援のためのサポートを強化する提案がなされた。

## ④その他

今回の協議会を2025年11月28日（金）に開催することを確認した。

7 閉会 : 乙倉副校長あいさつ